

平成 28 年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業「どさんこアウトメディアプロジェクト」

ジュニアサポーター養成事業

実施者	北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル北見							
ねらい	小中高生を対象に電子メディアの利用に関する学習機会を提供し、節度を持った利用の意識を高め、周囲にも活動を広めるなど、自ら主体的に取組を推進するサポーターを養成する。							
実施日	平成 28 年 12 月 4 日（日）10:00～14:00（各回 15 分程度の学習を 16 回実施）							
参加者	幼児 15 名、小学生 33 名、中学生 1 名、高校生 17 名 学生・一般 16 名、保護者 19 名 計 101 名							
備考	講師 北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課主査 清水秀紀							
日程	1 2 4	9 準備	10 「ネイパル北見クリスマスフェスタ」 ・ジュニアサポーター養成事業 ・体験プログラム	11 ・団体発表 ・屋外販売	12 ・ランチバイキング	13 撤収	14 解散	15
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ より多くの小中高生に、節度をもった電子メディアの利用に関する学習機会を提供するため、ネイパル北見の施設開放事業「クリスマスフェスタ」を活用し、ジュニアサポーター養成事業を実施した。 ○ 会場に特設ブースを設け、電子メディアの適切な使用に関する学習をクイズ形式で実施した。特に、ゲームやインターネットを長時間することによる健康への悪影響や人間関係の悪化等を例に挙げ、利用する際の注意点を呼びかけた。また、画面上の言葉だけのやりとりによるトラブル、架空請求やなりすまし等の犯罪被害の実例などを紹介し、被害に遭わないための注意喚起を行った。 ○ 参加者した保護者に対し、メディアチェックシートの活用や毎月第 1・第 3 日曜日のノーゲームデーの普及を呼びかけた。 ○ 受講者した幼児～高校生に「修了証」を配付し、適切な利用に関する取組を周囲にも広めることの意識付けを行った。 							
感想等	<p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズが楽しかった。（幼児） ・勉強が終わってからごはんの時間までゲームをしていたけど、これからはできるだけしないようにしようと思いました。（小 1） ・寝る前までゲームをしていたから、やめようと思った。（小 2） ・ゲームはネットにつながらないようにします。（小 3） ・時間を守ってやろうと思った。（小 4） ・ネット依存にならないように節度を持った利用をすることと、SNS に書き込む際には、みんなが嫌な思いをしないように注意しようと思いました。（高校生） <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭でのやくそく」をしっかりつくろうと思いました。 ・寝る直前までゲームをしていたので、これからは寝る 2 時間前にはさせないようにします。 ・ゲームではなく、親子のコミュニケーションをしっかりとろうと思いました。 ・子どもがネット動画を見ている時間が長いことを反省しました。 							
成果	<ul style="list-style-type: none"> (1) 主催事業「クリスマスフェスタ」を活用することで、より多くの小中高生に、電子メディアの適切な利用に関する学習機会を提供することができた。 (2) スタンプラリーの実施や放送による呼びかけ等により、全参加者 330 名のうち、101 名がジュニアサポーター養成事業の受講につなげることができた。 (3) クイズ形式で学習を行ったことにより、参加者の関心を高めることができた。 (4) 電子メディアの適切な利用に関して、周りの友人等に広めるための具体的なアクションの事例なども紹介しながら学習を深めることができた。 (5) 特に幼児～小学校低学年は、保護者の参加も多くあったため、家庭でのルールづくりの重要性について直接伝えることができた。 							
改善点等	(1) ステージ発表や各体験ブースも同時進行していたため、各回の学習時間を 15 分程度に設定し実施した。短時間でより効果のある学習内容の精選や、他の主催事業等でのプログラム化も視野に検討していく必要がある。							

